

第45回 全国高等学校総合文化祭和歌山大会 書道部門 全国展作品講評 令和3年8月5日
 講評:高等学校文化連盟 全国書道専門部 顧問 齋藤克美先生、平川友之先生、理事長 栗山 仁司先生

NO.	都道府県	学校名	学年	出品生徒名	題名	種別	講評
1	北海道	市立札幌開成中等教育学校	3	藤門 里香	永々無窮の地	創作	自らの言葉に託した思いを豊かな線質と構成力を用い表現した作品。
2	北海道	札幌龍谷学園高等学校	3	原田 結奈	龍の眼 神の眼	創作	大胆に大小を生かして空間を意識してよくまとまった作品。
3	北海道	北海道札幌北高等学校	3	津嶋 彩香	ひとりの修羅	創作	紙に強く擦りつけて一気に書いた力強い作品。
4	北海道	北海道札幌月寒高等学校	3	高橋 結菜	リラ冷えに乱舞	創作	濃墨を生かして線を工夫し、言葉との調和を意識した作品。
5	北海道	北海道千歳高等学校	3	吉田 結衣	臨 香紙切	仮名 臨書	変化に富んだ流麗な美しさを一字一字丁寧に書いた作品。
6	北海道	北海道札幌福雲高等学校	3	長崎 くるみ	寒暁	漢字 創作	淡墨を生かして言葉との調和を意識した作品。
7	北海道	北海高等学校	3	佐藤 万采	楓橋夜泊	漢字 創作	筆力が充実し、重厚感の中に余白の美しさを表現した作品。
8	北海道	北海道江差高等学校	3	大瀬 菜々夏	臨 魏霊蔵造像記	漢字 臨書	北魏の特徴を捉え墨をたっぷりつけて力強く書かれた作品。
9	北海道	市立函館高等学校	3	鍋田 茉綾	水霞の降る伽藍	創作	言葉に込めた思いを筆に託し、創造性豊かに表現された作品。
10	北海道	北海道旭川南高等学校	3	大塚 義人	臨 禮器碑	漢字 臨書	柔らかな筆遣いで隷書の装飾性を意識して書かれた作品。
11	北海道	北海道富良野高等学校	3	外崎 依楓	雪の絨毯風に乗る	創作	巧みな筆遣いで文字の大小を工夫して全体をまとめた作品。
12	北海道	北海道帯広柏葉高等学校	3	池原 亜飛	「時」	篆刻 創作	撰文に込めた思いを篆刻の名家の様々な作風を用いた多様性に富んだ作品。
13	北海道	北海道岩見沢西高等学校	3	友井 柚葉	萬不同	漢字 創作	木簡が醸し出す素朴さを表現した隷書体で書かれた作品。
14	北海道	北海道根室高等学校	3	長岡 冴奈	霜の聲	創作	変化のある字形と大胆な線質で全体をまとめた作品。
15	北海道	北海道苫小牧南高等学校	3	渡辺 妃莉	臨 開通褒斜道刻石	漢字 臨書	磨崖碑の素朴な趣を捉え、古典の雄大さを充実した線質で表現した作品。
16	北海道	北海道静内高等学校	3	鈴木 ひかり	八重桜の葉しづく	創作	全体の構成を意識して渴筆を生かして一気に書き上げた作品。
17	北海道	北海道稚内高等学校	3	細谷 桃花	寒星	創作	余白を生かして言葉と構成との調和を意識した作品。
18	青森県	青森山田高等学校	3	塩崎 佳那	祭文稿の臨書に吉野秀雄の歌を添えて	漢字 臨書	古典の特徴を捉えながら重厚さを抑えて落ち着いて書かれた作品。
19	青森県	青森県立黒石高等学校	3	大森 琴稀	臨 木簡	漢字 臨書	全体構成に配慮して、木簡の素朴さと強さを表現した作品。
20	青森県	青森県立八戸高等学校	2	笹森 知愛	夏目漱石のことば	創作	言葉の意図するところを深く考えながら、線質による表現を追求した作品。
21	青森県	青森県立八戸東高等学校	3	田中 あみ	臨 九成宮醴泉銘	漢字 臨書	欧法の字形を踏まえて根気強く書き上げた意欲ある作品。
22	青森県	青森県立三本木高等学校	3	里村 くるみ	臨 枯樹賦	漢字 臨書	流麗な筆致で余白を生かしてすっきりと仕上げた作品。
23	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	3	吉田 絢咲	甲骨文羅振玉句	漢字 創作	線質を工夫し、甲骨文字を書いているときの楽しさが伝わる作品。
24	岩手県	岩手県立盛岡第四高等学校	3	伊藤 さくら	臨 吳昌碩画讚	漢字 臨書	吳昌碩の筆法を理解して筆圧や遅速を工夫して仕上げた作品。
25	岩手県	岩手県立盛岡北高等学校	3	岡本 奈々	臨 中務集	仮名 臨書	古筆の特徴を踏まえ、太細の変化、潤濁、行の流れ等を表現した作品。
26	岩手県	岩手県立盛岡商業高等学校	3	佐藤 沙照	臨 王鐸	漢字 臨書	王鐸の特徴を理解して筆力を充実させて表現した作品。
27	岩手県	岩手県立福岡高等学校	3	遠藤 珠羽	臨 楊峴書	漢字 臨書	伸びやかな波勢を活かし、古人の運筆のリズムが発揮された作品。
28	岩手県	岩手県立一戸高等学校	3	久保田 優花	臨 皇甫誕碑	漢字 臨書	古典の特徴を捉えて字形・線質とも緊張感を維持して表現した作品。
29	宮城県	宮城県工業高等学校	3	叶 大	臨 行書杜甫詩禹廟軸	漢字 臨書	王鐸の特徴を捉えて遅速や緩急を生かして表現した作品。
30	宮城県	仙台育英学園高等学校	2	宮林 茉穂	篆書千字文	漢字 創作	篆書体を一字ずつ練習を積み重ねて書き上げた努力作品。
31	宮城県	宮城県石巻高等学校	3	佐々木 星夏	臨 始平公造像記	漢字 臨書	北魏の特徴を捉えて碑の雰囲気再現した努力作。
32	宮城県	聖ウルスラ学院英智高等学校	3	丹野 友莉香	臨 針切	仮名 臨書	古筆の特徴である筆線の鋭さと伸びやかさを効果的に表現した作品。
33	宮城県	宮城県白石工業高等学校	3	山田 和奏	山村暮鳥の詩「風景」	創作	詩文の持つ情景を表現するため、全体構成や文字の造形、墨色を工夫した作品。
34	秋田県	秋田県立能代松陽高等学校	3	成田 真耶	陶淵明詩	漢字 創作	龍門様式の特徴を自らの豊かな表現に置き換えた創造性ある作品。
35	秋田県	秋田令和高等学校	2	武田 美虹	臨 風信帖	漢字 臨書	風信帖の特徴を捉え行間の余白を意識して丁寧に仕上げた作品。
36	秋田県	秋田県立大曲高等学校	3	遠藤 咲希	臨 書譜	漢字 臨書	古典の特徴をとらえ、文字の大小や肥瘦の変化を表現した作品。
37	秋田県	秋田県立横手城南高等学校	3	堀川 心春	臨 関戸本古今集	仮名 臨書	古筆の字形や線質を学習し、筆力の変化を活かして表現した作品。
38	山形県	山形県立酒田光陵高等学校	3	富樫 紗希	臨 西行 中務集	仮名 臨書	行の流れを捉え、緩急を活かして表現した作品。
39	山形県	山形県立山形西高等学校	3	星川 凜	臨 吳昌碩 五言律詩幅	漢字 臨書	吳昌碩の書風を捉えて筆圧や遅速の変化を活かして表現した作品。
40	山形県	山形県立東桜学館高等学校	3	小野 菊晴	臨 魏霊蔵造像記	漢字 臨書	龍門様式の鋭さが丁寧に表現され、臨書の成果が発揮された作品。
41	山形県	山形県立鶴岡北高等学校	3	本間 日奈子	臨 黄庭堅 松風閣詩卷	漢字 臨書	全体の構成や用筆・運筆を工夫し、古典の特徴である気脈を大切に表現した作品。
42	山形県	山形県立新庄南高等学校	3	星川 優月	臨 米芾 苕溪詩卷	漢字 臨書	米芾の字形や抑揚の変化を捉え、豊かな墨量で書かれた作品。
43	福島県	福島県立福島東高等学校	3	遠藤 瑠夏	臨 孫秋生造像記	漢字 臨書	龍門様式の起筆と収筆の鋭さが表現され、スピード感溢れる作品。
44	福島県	福島県立白河高等学校	3	青木 心花菜	臨 重之集	仮名 臨書	古筆の特徴を捉えて流麗で伸びやかな線質で表現した作品。
45	福島県	福島県立安積黎明高等学校	3	長久保 周子	臨 王鐸	漢字 臨書	王鐸の特徴を捉えて筆の抑揚と墨の潤濁を工夫して表現した作品。
46	福島県	福島県立会津津風高等学校	3	星 朋葉	臨 雁塔聖教序	漢字 臨書	楮法の特徴を踏まえ、抑揚や遅速の変化などを的確に捉えた作品。
47	福島県	学校法人松陵学園福島高等学校	3	阿曾 萌生	み山への	仮名 創作	仮名の臨書を通して習得したことを創作に生かした意欲的な作品。
48	茨城県	水戸葵陵高等学校	3	荻沼 美羽	臨 徐三庚 臨天發神識碑	漢字 臨書	古人の趣きを生かす筆力ある線質で構成にも配慮しながら表現した作品。
49	茨城県	茨城県立藤代紫水高等学校	3	大野 瑞利愛	臨 粘葉本和漢朗詠集	仮名 臨書	破体書のような漢詩と流麗に書かれた和歌の部分とを調和させた作品。
50	茨城県	茨城県立太田第一高等学校	3	清水 茉莉	宮澤賢治詩 雨ニモマケズ	創作	言葉を大切に、自身の思いを金農の書法に託し、個性豊かに表現した作品。
51	茨城県	茨城県立下妻第二高等学校	3	塚越 雅姫	臨 木簡	漢字 臨書	落ち着きのある木簡の字形ながら縦画を勢いよく表現した作品。
52	茨城県	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	3	片見 真夢	臨 黄庭堅詩四屏	漢字 臨書	何紹基の特徴を追求し、豊かな線質と造形の妙を会得した作品。
53	茨城県	水城高等学校	3	加納 歩美	臨 米芾 賀鑄帖一節	漢字 臨書	米芾の特徴である豊かな線質と造形とを捉えて表現した作品。
54	茨城県	茨城県立水戸第二高等学校	3	柴沼 杏奈	臨 伊都内親王願文	漢字 臨書	古典の特徴である抑揚の変化や字形の大小をよく捉えて表現した作品。
55	茨城県	茨城県立水戸第三高等学校	3	金田 のぞ美	臨 敦煌漢簡	漢字 臨書	筆の抑揚や開閉を活かし、躍動感を筆圧や遅速の変化で表現した作品。
56	茨城県	茨城県立牛久米進高等学校	3	工藤 美羽	臨 始平公造像記	漢字 臨書	造像記の起筆と収筆の特徴を捉え朱墨の粹線で明るくまとめた作品。
57	茨城県	茨城県立水海道第二高等学校	3	鈴木 彩乃	臨 書譜	漢字 臨書	古典の様式美をよく学習し、筆圧の変化や抑揚を工夫して表現した作品。
58	栃木県	栃木県立宇都宮高等学校	3	藤沼 朋希	臨 灌頂記	漢字 臨書	全体の構成を考えながらも力強い線で豊かに表現した作品。
59	栃木県	栃木県立宇都宮東高等学校	3	行澤 遼大	臨 真草千字文	漢字 臨書	楷書体と草書体とを金銀で書き分けた装飾性豊かな作品。
60	栃木県	栃木県立宇都宮女子高等学校	3	見上 愛歩	臨 詩懷紙	漢字 臨書	古典の特徴を捉え、流麗で躍動感のある筆跡を表情豊かな線質で表現した作品。
61	栃木県	栃木県立宇都宮中央女子高等学校	3	野沢 萌々子	臨 中務集	仮名 臨書	古筆の特徴を踏まえて筆圧や気脈の変化を表現した作品。
62	栃木県	國學院大學栃木中等高等学校	3	大塚 翔吾	韋應物詩	漢字 創作	全体の構成を工夫し、緩急や抑揚を生かした躍動的な作品。
63	群馬県	群馬県立高崎女子高等学校	3	大澤 彩夏	臨 李嶠詩	漢字 臨書	各書体の特徴を捉えて点画の筆力や抑揚を工夫して表現した作品。
64	群馬県	群馬県立伊勢崎清明高等学校	3	大石 萌々乃	和気生嘉祥	刻字 創作	全体の構成や篆書の造形に工夫を凝らし、生命の躍動を感じさせる個性豊かな作品。
65	群馬県	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	3	片桐 実咲	臨 屏風土代	漢字 臨書	古典の行草の字形を捉えて潤濁を工夫して丁寧に仕上げた作品。
66	群馬県	高崎市立高崎経済大学附属高等学校	3	奥木 愛梨	臨 一条摂政集	仮名 臨書	古筆に忠実に向き合い、行の流れを捉えて表現した作品。
67	埼玉県	埼玉県立上尾高等学校	3	本田 果歩	臨 松風閣詩卷	漢字 臨書	古典の特徴である用筆の変化や字形等の変化を的確に捉え、骨力を備えた作品。
68	埼玉県	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	3	宇野 莉々子	臨 楊峴古四種卷	漢字 臨書	楊峴の独特な波勢を身に付けて多字数で全体をまとめた作品。
69	埼玉県	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	3	小松 梨乃	臨 世説新書	漢字 臨書	字形を的確に捉えて筆力のある点画で仕上げた緊張感のある作品。
70	埼玉県	埼玉県立岩槻高等学校	3	小島 百瑚	臨 針切	仮名 臨書	古筆の特徴を学習して張りのある線質で表現した作品。
71	埼玉県	埼玉県立浦和商業高等学校	3	高野 彩香	臨 曼殊院本古今集	仮名 臨書	古筆の様式美を踏まえて伸びのある線で仕上げた安心感のある作品。
72	埼玉県	埼玉県立浦和西高等学校	3	塩野谷 笑葉	臨 書譜	漢字 臨書	王法を継承する様式を踏まえてすっきりした線で丁寧に仕上げた作品。
73	埼玉県	埼玉県立大宮光陵高等学校	3	清水 稜海	臨 曹全碑	漢字 臨書	全体の構成と隷法の基本を踏まえた書への関心の高い作品。
74	埼玉県	埼玉県立大宮光陵高等学校	3	田中 美咲	臨 粘葉本和漢朗詠集	仮名 臨書	漢字表現や仮名表現の部分的な特徴をよく捉え緻密に表現した作品。
75	埼玉県	埼玉県立春日部女子高等学校	3	中村 美陽	臨 魏霊蔵造像記	漢字 臨書	造像記の造形や筆法を習得して力強く丁寧に仕上げた作品。
76	埼玉県	埼玉県立川口東高等学校	3	舎川 綾夏	臨 石台孝経	漢字 臨書	古典の字形を理解して厚みのある線でしっかりと書かれた作品。
77	埼玉県	埼玉県立熊谷西高等学校	3	太田 有咲	臨 楊峴臨古四種卷	漢字 臨書	全体の構成と隷法の基本を踏まえ、筆圧や潤濁の変化などを表現した作品。
78	埼玉県	埼玉県立滑川総合高等学校	3	野澤 夢	万葉のうた	仮名 創作	仮名の臨書学習を生かして用具用材を工夫し、装飾的に表現した作品。
79	埼玉県	埼玉県立富士見高等学校	3	大塚 桃美	歸燕	漢字 創作	全体構成や余白の美を意識し、墨をたっぷり含ませて一気に書き上げた作品。
80	埼玉県	本庄東高等学校	3	吉川 瑠璃子	臨 孫秋生劉起祖等造像記	漢字 臨書	造像記の特徴を捉えて全体構成を工夫し、丁寧に仕上げた作品。

81	千葉県	千葉県立千葉高等学校	3	杉田 麻美	臨 徐三庚篆書文語雙幅	漢字	臨書	徐三庚の篆書体の特徴を捉えて装飾性豊かに表現した作品。
82	千葉県	千葉県立幕張総合高等学校	3	敦賀 芽衣	百人一首	仮名	創作	古筆の学習を生かし、全体の構成に配慮し装丁の装飾性まで追求した作品。
83	千葉県	千葉県立八千代東高等学校	3	澤谷 未菜	臨 楊峴 臨古四種巻	漢字	臨書	楊峴の独特の書風を身に付け、抑揚のある線で表現した作品。
84	千葉県	千葉県立船橋法典高等学校	3	高木 愛夏	元徳明詩句	漢字	創作	清代の北魏的用筆法を身に付けて現代的な感覚で仕上げた作品。
85	千葉県	千葉県立国府台高等学校	3	藤村 実来里	臨 呉昌碩 行書文語	漢字	臨書	文字の大小、墨の潤濁、遅速の変化等、流れと骨力を表現した作品。
86	千葉県	千葉県立富里高等学校	3	渡邊 梨央	胡蝶の夢	漢字	創作	漢字仮名交じりの書に隷書体の漢字を加えて全体を構成した作品。
87	千葉県	千葉県立佐倉高等学校	3	村嶋 理子	蘇東坡詩	漢字	創作	北魏的な字形や用筆法で最後まで丁寧に仕上げた作品。
88	千葉県	千葉県立袖ヶ浦高等学校	3	梶原 実季	臨 張猛龍碑	漢字	臨書	六朝楷書の特徴を捉え偏旁や角度の変化等を多様に表現した作品。
89	千葉県	千葉市立千葉高等学校	3	仲 彩菜	曇天に祈る	漢字	創作	言葉に込めた思いを筆に託し、力強い線質で創造性豊かに表現された作品。
90	千葉県	和洋国府台女子高等学校	3	渡邊 友佳子	臨 曹全碑	漢字	臨書	曹全碑の特徴を学習して流麗で伸びやかに表現した作品。
91	千葉県	拓殖大学紅陵高等学校	3	高梨 彩華	臨 雁塔聖教序	漢字	臨書	褚遂良の雁塔聖教序の特徴を捉えて丁寧に仕上げた作品。
92	東京都	東京都立足立東高等学校	2	松本 幸大	奏鳴	漢字	創作	用具・用材や紙面構成を工夫し、より流動的・立体的な線質で表現した作品。
93	東京都	女子美術大学付属高等学校	3	嶋谷 珠莉	臨 小島切	仮名	臨書	古筆の特徴を捉えて繊細且つ伸びやかに表現した作品。
94	東京都	聖徳学園高等学校	2	安藤 暖哲	臨 関戸本古今集	仮名	臨書	古筆の美しい構成を工夫し、細密なリズムと太細の変化表現した作品。
95	東京都	大成高等学校	3	若林 里奈	臨 魏靈蔵造像記	漢字	臨書	龍門様式の特徴を踏まえ、鋭く強い点画と右上がりの力強い結体追求した作品。
96	東京都	大東文化大学第一高等学校	3	太田 花	摹 趙之謙印	篆刻	臨書	秦・漢の篆書や諸派を研究し尽くした趙之謙の篆刻の多様性を再現した作品。
97	東京都	大東文化大学第一高等学校	3	長戸 咲也穂	臨 中務集	仮名	臨書	古筆の特徴を会得して繊細でありながら迷いのない線で表現した作品。
98	神奈川県	神奈川県立横浜修徳館高等学校	3	矢澤 良和	臨 書譜	漢字	臨書	合理的な運筆と字形を捉え、軽妙で生気があふれる気脈と線の特徴を追求した作品。
99	神奈川県	向上高等学校	3	羽山 和	臨 徐三庚 天発神讖碑	漢字	臨書	徐三庚が解釈した古典の字形・筆法を捉えて表現した作品。
100	神奈川県	神奈川県立市ヶ尾高等学校	3	武川 美由美	臨 穀毅論(光明皇后)	漢字	臨書	全体の調和や統一に配慮し、鋭い筆致による強さを表現した作品。
101	神奈川県	神奈川県立茅ヶ崎高等学校	3	宇都 由季乃	臨 高貞碑	漢字	臨書	古典の特徴を捉え、統一感のある表現で丁寧にまとめた作品。
102	神奈川県	川崎市立高津高等学校	3	高栖 凜	臨 何紹基 行草山谷題跋語四屏	漢字	臨書	何紹基独特の特徴を捉えて造形及び線質の変化を表現した作品。
103	神奈川県	浅野高等学校	2	楠元 大希	雪の降る家路にて	漢字	創作	題材を生かして装丁を工夫し、叙情豊かに表現した作品。
104	神奈川県	神奈川県立港北高等学校	3	梅澤 早紀	臨 解伯達造像記	漢字	臨書	造像記の特徴を捉え、統一感のある表現で全体構成を工夫した作品。
105	神奈川県	白鷗女子高等学校	3	日下部七琉	道	漢字	創作	字形を大切にしながら紙面全体をつかって一気に書き上げた気合いのこもった作品。
106	神奈川県	私立湘南学院高等学校	3	岩井 ナミ	金農 七言律詩	漢字	臨書	金冬心の特徴的な造形や技法を習得して的確に表現した作品。
107	山梨県	山梨県立都留興譲館高等学校	3	渡邊 千晴	臨 居延漢簡	漢字	臨書	筆の開閉の工夫と肉太な線で力強さを感じさせる作品。
108	山梨県	山梨県立甲府東高等学校	3	中込 ゆり子	臨 張猛龍碑	漢字	臨書	古典の特徴を現代的に捉え、全体構成や押印を工夫して表現した作品。
109	山梨県	山梨県立甲府第一高等学校	3	生原 志歩	臨 中務集	仮名	臨書	古筆の特徴を捉え、筆圧や気脈の変化を工夫して表現した作品。
110	山梨県	駿台甲府高等学校	3	飯田 亜衣	臨 居延漢簡	漢字	臨書	用具・用材を効果的に使用し、木簡の特性を生かして丁寧に仕上げた作品。
111	新潟県	新潟県立新潟南高等学校	3	古俣 真美	臨 李柏文書	漢字	臨書	筆の開閉を活かして一気に書き上げた力強い作品。
112	新潟県	新潟県立新潟江南高等学校	3	品田 華子	臨 木簡	漢字	臨書	文字の造形や大きさを工夫し、全体を個性的にまとめた作品。
113	新潟県	日本文理高等学校	2	有波 咲良	臨 九成宮醴泉銘	漢字	臨書	欧法の謹厳な字形を捉え、緊張感と迫力を表現した作品。
114	新潟県	中越高等学校	3	柁澤 未宥	臨 忽拔帖	漢字	臨書	古典の特徴を捉え、太細の変化を活かした線で力強く仕上げた作品。
115	新潟県	中越高等学校	3	倉重 風香	臨 萊子侯刻石	漢字	臨書	子の文字が並んでいても違和感がなく、古典の筆法を活かして表現した作品。
116	新潟県	新潟県立柏崎高等学校	3	内山 あかり	臨 石門頌	漢字	臨書	古典の特徴を捉えながら、構成を意識して形を整えて仕上げた作品。
117	新潟県	新潟県立柏崎高等学校	3	宮澤 真奈	臨 爨龍顔碑	漢字	臨書	平面構成を工夫し、変化に富んだ結構と重厚な線質を表現した骨力ある作品。
118	富山県	富山県立富山北高等学校	3	飯澤 せつな	王直詩「月下對酒」	漢字	創作	王鐸の筆法を習得して文字の造形や線質を工夫した作品。
119	富山県	富山県立呉羽高等学校	3	関小田 汐季	勲章	漢字	創作	自らの思いを言葉に紡ぎ、それを筆に託すことにより高い精神性を表現した作品。
120	富山県	富山県立呉羽高等学校	3	三澤 葵空	臨 関戸本古今集	仮名	臨書	古筆の特徴を捉えて線の太細、潤濁、行の流れを表現した作品。
121	富山県	富山県立富山西高等学校	2	悟道 音羽	朱自牧七言対句	漢字	創作	全体の構成や字形を工夫して現代的に明るく仕上げた作品。
122	富山県	富山県立高岡高等学校	3	村田 瑠菜	臨 去夏帖	漢字	臨書	古典の特徴を捉え、構成を意識しながら潤濁を活かして表現した作品。
123	富山県	富山県立水見高等学校	3	原 さくら	永平廣録	漢字	創作	隷書の特徴を踏まえ、筆力が充実し重厚で粘り強い線質を表現した作品。
124	石川県	石川県立七尾高等学校	3	木戸 綾乃	楊峴漢陳文範碑節臨	漢字	臨書	強調された波勢を活かし、筆の抑揚を効かせた運筆が効果的な作品。
125	石川県	学校法人金沢高等学校	3	佐藤 美空	臨 蘭亭序	漢字	臨書	行書体の特徴を捉え、一字一字丁寧に臨書し表現した作品。
126	石川県	石川県立金沢二水高等学校	3	宮一 なつみ	臨 孫秋生劉起祖等造像記	漢字	臨書	造像記の特徴を捉え、力強い運筆ながら丁寧に仕上げた作品。
127	福井県	福井県立大野高等学校	3	堀 真由子	臨 王鐸	漢字	臨書	筆圧や用筆の変化を捉えて潤濁を工夫して仕上げた作品。
128	福井県	福井県立藤島高等学校	3	川崎 麻衣	臨 王鐸 行書五律五首	漢字	臨書	横形式の構成を踏まえ、文字群の均衡や律動的な全体の流れを工夫した作品。
129	福井県	福井県立高志高等学校	3	佐藤 美早紀	臨 牛欄造像記	漢字	臨書	北魏様式を理解し、方筆の筆遣いや筆圧・遅速に配慮しながら表現した作品。
130	福井県	福井県立武生東高等学校	3	田邊 あすか	臨 始平公造像記	漢字	臨書	造像記の特徴を捉えて全体構成を工夫し、力強くも明るく仕上げた作品。
131	長野県	長野県長野西高等学校	3	酒井 梨帆	臨 祭姪文稿	漢字	臨書	筆の開閉や抑揚を工夫して力強く大胆に表現した作品。
132	長野県	長野県佐久総合技術高等学校	3	上原 美菜	臨 中務集	仮名	臨書	古筆の特徴を踏まえ、流麗な連綿線を繊細に表現した作品。
133	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	3	福島 彩綺	臨 爨宝子碑	漢字	臨書	古典の持つ素朴な造形と力強さを充実した線で伸びやかに表現した作品。
134	長野県	高松学園伊那西高等学校	3	野崎 葵	臨 孫秋生劉起祖等造像記	漢字	臨書	造像記の力強い運筆と剛直な線を活かして表現した作品。
135	長野県	長野県塩尻志学館高等学校	3	永原 侑奈	臨 空海筆 灌頂記	漢字	臨書	重厚な線で遅速の変化を工夫しながら全体構成を意識して仕上げた作品。
136	長野県	長野県松本鐘ヶ崎高等学校	3	後藤 静香	李太白詩四首	漢字	創作	帛書の様式を習得して現代的感覚で明るく仕上げた作品。
137	長野県	長野県松本鐘ヶ崎高等学校	3	鍋田 舞	杜子美詩三首	漢字	創作	詩文の意味を踏まえ、緻密な結構と重厚な線質を効果的に表現した作品。
138	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	3	奥田 帆香	臨 楊峴 古四種巻	漢字	臨書	古人の書法の特徴を理解し、横画や波磔を意図的に表現した作品。
139	岐阜県	岐阜県立岐阜総合学園高等学校	3	光野 文菜	小淵健太郎の詞	漢字	創作	題材を踏まえて全体を構成し、無理のない字形で読みやすく仕上げた作品。
140	岐阜県	岐阜県立飛騨高山高等学校	3	上窪 千賀	臨 曾侯乙墓竹簡	漢字	臨書	古典の特徴を理解しながら独自の表現を工夫して仕上げた作品。
141	岐阜県	大垣日本大学高等学校	3	伊藤 凛々華	蔵輝	漢字	創作	迫力のある力強い線で紙面構成にも配慮された作品。
142	岐阜県	飛騨学園高山西高等学校	3	原田 みこと	臨 曹全碑	漢字	臨書	曹全碑の特徴を理解して扁平な字形を強調して伸びやかに表現した作品。
143	静岡県	浜松学芸高等学校	3	大石 くるみ	臨 多宝塔碑	漢字	臨書	顔法の基本的な運筆を理解し、内に込めた力強さと謹厳さを表現した作品。
144	静岡県	浜松学芸高等学校	3	村松 怜	臨 楷書汜勝之書	漢字	臨書	趙之謙の独特な楷書体の特徴を捉えて柔軟な線質で表現した作品。
145	静岡県	浜松市立高等学校	3	木村 二胡	臨 西嶽華山廟碑	漢字	臨書	古典の特徴を理解して落ち着いた丁寧な仕上げた作品。
146	静岡県	静岡県立浜名高等学校	3	鈴木 菜月	塞翁馬	漢字	創作	表現の書式や構成など表現方法を工夫し、古典学習の成果を発揮した作品。
147	静岡県	沼津市立沼津高等学校	3	市川 蒼	臨 魏靈蔵造像記	漢字	臨書	全体構成を意識して造像記の特徴を強調して表現した作品。
148	静岡県	静岡県立駿河総合高等学校	3	菊本 七海	和歌三首	仮名	創作	古筆の学習を生かして全体の構成に配慮しながら豊かに表現した作品。
149	静岡県	静岡県立富士高等学校	3	長田 萌	臨 孫秋生造像記	漢字	臨書	全体構成を工夫して造像記の特徴を捉えながら現代的な感覚で表現した作品。
150	静岡県	静岡県立沼津西高等学校	3	金刺 萌菜	臨 石山切伊勢集	仮名	臨書	古筆の特徴を捉え、料紙を工夫し、軽やかな連綿で表現した作品。
151	静岡県	静岡県立沼津西高等学校	3	杉本 菜摘	臨 呉昌碩臨石鼓文四屏	漢字	臨書	石鼓文に対する古人の創意に満ちた運筆や字形のとらえ方を追求した作品。
152	愛知県	愛知県立愛知商業高等学校	3	立藤 愛唯	良寛詩	仮名	創作	仮名の学習を生かして用具・用材を工夫し、潤濁や行の流れ等を効果的に表現した作品。
153	愛知県	愛知県立旭丘高等学校	3	春日 愛実	「印象日の出」をみて	漢字	創作	言葉を大切に、墨色の美しさ、線の勢い、余白美を考えた作品。
154	愛知県	愛知県立春日井西高等学校	3	亀多 美月	臨 張璠圖軸	漢字	臨書	古典の特徴を捉え、素早い運筆で文字の大きさを工夫しながら一気に書き上げた作品。
155	愛知県	愛知県立瑞陵高等学校	2	成田 麻衣	臨 温泉銘	漢字	臨書	古典の持つ雄大な書風を大胆な運筆の運動と構成の工夫により表現した作品。
156	愛知県	愛知県立西尾東高等学校	2	沖田 唯希	臨 伊都内親王願文	漢字	臨書	古典の特徴を踏まえて、運筆の遅速や抑揚等を活かして表現した作品。
157	愛知県	岡崎城西高等学校	3	服部 央々佳	臨 松風閣詩巻	漢字	臨書	古典の用筆を学習し、潤濁を効果的に活かして表現した作品。
158	三重県	三重県立いなべ総合学園高等学校	3	田中 佑依	臨 呉昌碩 行書七言聯	漢字	臨書	呉昌碩の篆・隸の筆法を捉え、厚みのある線を表現した作品。
159	三重県	三重県立川越高等学校	3	大橋 彩由	臨 何紹基金文	漢字	臨書	何紹基の特徴を追求し、豊かな線質と造形の妙を会得した作品。
160	三重県	三重県立四日市西郷高等学校	3	堀 真緒	臨 九成宮醴泉銘	漢字	臨書	整齊な字形を踏まえ、根気強く表現した意欲的な作品。
161	三重県	三重県立津高等学校	3	池田 千春	臨 一条摂政集	仮名	臨書	古筆独特の右に傾斜する行の流れと鋭い連綿線がよく表現された作品。
162	三重県	三重県立久居高等学校	3	吉川 沙弥	臨 鄧石如	漢字	臨書	古人の篆書の特徴を理解して、緊密な結構と骨力のある線質で表現された作品。
163	三重県	三重県立尾鷲高等学校	3	森山 古都音	臨 曹全碑	漢字	臨書	左右の均衡や扁平な字形の特徴を捉え、きめ細やかに表現した作品。

164	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	3	今村 彰太	七言句	漢字	創作	全体の構成、文字の造形を工夫し、力強く表現した作品。
165	滋賀県	延暦寺学園比叡山高等学校	3	竹井 妃奈	篆書十一言対句	漢字	創作	楚簡帛書の線質の特徴をよく表現し、全体構成に配慮した作品。
166	滋賀県	滋賀県立甲西高等学校	3	小林 千織	創作 篆隸千字文一節	漢字	創作	隸・篆の特徴を捉え、一点一画を緻密に表現した作品。
167	滋賀県	滋賀県立伊吹高等学校	3	友田 蘭月	デクノボー	<small>漢字</small>	創作	言葉を大切に、用具・用材を工夫して詩情豊かに表現した作品。
168	京都府	京都府立洛西高等学校	3	佐々木 唯衣	臨 開通褒斜道刻石	漢字	臨書	古典の特徴である気宇の雄大さと緊密にからみ合う構成の面白さを表現した作品。
169	京都府	京都府立福知山高等学校	3	南 このか	臨 魏靈藏薛法紹造像記	漢字	臨書	龍門様式の視点を明確にし、造形の特徴と力強さを個性的に表した作品。
170	京都府	京都府立宮津高等学校	3	室澤 依亜	千載和歌集より	仮名	創作	散らし書きの構成や行の流れ、墨の潤濁など仮名の美しさを効果的に表現した作品。
171	京都府	京都府立宮津高等学校	3	山中 円美	拾遺和歌集より	仮名	創作	潤濁や行の流れを工夫し、仮名の流麗さを表現した作品。
172	京都府	京都府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎	2	松瀬 夏帆	臨 曹全碑	漢字	臨書	装飾的な美しさを追求し、均斉や波磔を工夫した作品。
173	大阪府	大阪緑涼高等学校	3	澤井 美潤	臨 魏靈藏薛法紹造像記	漢字	臨書	龍門様式の特徴を捉え、全体構成を工夫し、効果的に表現した作品。
174	大阪府	大阪緑涼高等学校	3	當眞 博子	臨 欧陽通 道因法師碑	漢字	臨書	全体の構成に配慮し、結構の特徴を踏まえた多字数の努力作。
175	大阪府	清教学園高等学校	3	鍵山 菜乃	臨 山家心中集	仮名	臨書	流麗な筆致で、のびのびした線質と鋭く厳しい転折が表現された作品。
176	大阪府	清教学園高等学校	3	酒井 彩七	枕草子	仮名	創作	全体の流れや行頭・行脚を工夫し、軽快で変化に富んだ作品。
177	大阪府	大商学園高等学校	3	市川 愛性	臨 黄道周 石城寺諸友過集・洗心詩	漢字	臨書	全体構成や用筆・運筆を工夫し、大胆な結体と行の展開を表現した作品。
178	大阪府	大阪府立清水谷高等学校	3	前田 杏実夏	臨 黄山谷 松風閣詩卷	漢字	臨書	行草体の特徴や墨量を工夫し、気脈を大切に表現した作品。
179	大阪府	大阪府立住吉高等学校	3	村下 友望	臨 欧陽詢 九成宮醴泉銘	漢字	臨書	整齊な字形を捉え、緊張感を持続し、装飾性を凝らした作品。
180	大阪府	大阪府立高石高等学校	2	松谷 有真	臨 王鐸 臨王筠寒凝帖軸	漢字	臨書	造形の均衡を踏まえ、律動的な美しさを追求した作品。
181	大阪府	大阪府立登美丘高等学校	3	川口 豪翔	臨 曹全碑	漢字	臨書	隸法を理解し、整った字形と流麗で伸びやかな波磔を表現した作品。
182	大阪府	大阪府立東住吉高等学校	3	松澤 優里	臨 中務集	仮名	臨書	古筆の特徴を捉え、流麗な連綿線を会得した作品。
183	兵庫県	兵庫県立兵庫高等学校	3	八木 友菜	臨 楊峴 漢陳文範碑	漢字	臨書	隸法の特徴を捉え、豊かな線質と造形の妙を会得した作品。
184	兵庫県	兵庫県立加古川南高等学校	3	前田 虹胡	臨 一条摂政集	仮名	臨書	小粒な字形を強い筆線と運筆のリズムで行の流れを美しく表現した作品。
185	兵庫県	兵庫県立吉川高等学校	3	片山 莉央	ももしきの	仮名	創作	古筆の学習を活かし、温和で優美な字形と流れを表現した作品。
186	兵庫県	親和女子高等学校	3	中山 絢乃	臨 木簡	漢字	臨書	文字の創造性を踏まえ、筆の開閉や墨の潤濁を個性的に表現した作品。
187	兵庫県	兵庫県立芦屋高等学校	3	野妻 綾	臨 裴將軍詩	漢字	臨書	顔法の重厚で豊かな線質を力強く表現した作品。
188	兵庫県	白陵高等学校	2	森 悠華	六言二句	漢字	創作	篆法の学習を踏まえ、文字の造形を追求し、効果的に表現した作品。
189	兵庫県	兵庫県立須磨東高等学校	3	妹尾 朋奏	臨 始平公造像記	漢字	臨書	龍門様式の特徴を効果的に捉え、線質や全体構成を工夫した作品。
190	兵庫県	兵庫県立豊岡高等学校	3	桶本 ころ	臨 毛公鼎	漢字	臨書	金文の特徴を捉え、鋭い線質と造形の妙を追求した個性豊かな作品。
191	兵庫県	武庫川女子大学附属高等学校	3	安田 弥生	臨 温泉銘	漢字	臨書	温泉銘の重厚で豊かな運筆と文字の特徴を的確に捉えた作品。
192	兵庫県	兵庫県立伊川谷北高等学校	3	川崎 妃奈子	臨 王鐸	漢字	臨書	造形の均衡を理解し、律動的な美しさを求めた作品。
193	奈良県	奈良県立平城高等学校	3	福井 杏紗	臨 黄庭堅 松風閣詩卷	漢字	臨書	全体の構成や用筆・運筆を工夫し、気脈を大切に表現した作品。
194	奈良県	奈良県立高田高等学校	3	川口 詩織	臨 王鐸	漢字	臨書	雄渾で気脈の充実した精神性の高い作品。
195	奈良県	奈良県立権原高等学校	3	竹村 亜衣	臨 李太白憶旧遊詩卷	漢字	臨書	横の展開が顕著な詩巻を文字群の均衡を工夫し、律動的な美しさを表現した作品。
196	奈良県	奈良県立歌傍高等学校	3	東 未郷	臨 王鐸	漢字	臨書	王鐸の特徴を捉え、文字群の均衡を工夫し、流れにも配慮した作品。
197	奈良県	奈良県立桜井高等学校	3	石田 もも果	臨 小島切	仮名	臨書	繊細で伸びやかな線質と流麗な美しさを効果的に表現した作品。
198	奈良県	奈良県立桜井高等学校	3	上内 美裕	万葉歌七首大和紀伊	漢字	創作	地域に根ざした題材を生かし、古典に立脚しながら自己表現力を達成した作品。
199	和歌山県	和歌山県立星林高等学校	3	後地 夏希	臨 缶翁行書詩	漢字	臨書	呉昌碩の特徴を理解し、筆力ある線質を豊かに表現した作品。
200	和歌山県	和歌山県立星林高等学校	3	濱崎 礼愛	臨 王鐸 臨徐嶠之帖	漢字	臨書	律動的な美しさを効果的に表現し、骨格の充実した作品。
201	和歌山県	和歌山県立紀央館高等学校	3	加賀 友弥	臨 何紹基	漢字	臨書	何紹基の運筆の抑揚の変化による多彩な線質捉え、個性豊かに表現した作品。
202	和歌山県	和歌山県立紀央館高等学校	2	細田 菜月	臨 文徵明	漢字	臨書	全体の構成に配慮し、堅実な表現法で含蓄ある作品。
203	鳥取県	鳥取県立八頭高等学校	3	大本 ころ	臨 始平公造像記	漢字	臨書	龍門様式を理解し、素朴で粘り強い線を追求し表現した作品。
204	鳥取県	鳥取県立米子西高等学校	3	中井 琳菜	臨 高野切第一種	仮名	臨書	行の流れや墨の潤濁の変化を捉え、古筆の学習を生かして忠実に表現した作品。
205	鳥取県	学校法人鳥取学園鳥取城北高等学校	3	佐藤 萌々夏	臨 左續序	漢字	臨書	繊細な表現を見事に捉え、墨の潤濁や線の太細にも配慮した作品。
206	鳥根県	鳥根県立松江北高等学校	3	岩見 涼	臨 九成宮醴泉銘	漢字	臨書	欧法の整齊な字形を捉え、骨力の強さにも配慮し表現した作品。
207	鳥根県	鳥根県立出雲高等学校	2	神西 淳	臨 蜀素帖	漢字	臨書	行ごとの流れを工夫し、線質の豊かさや抑揚の変化を捉えた作品。
208	鳥根県	鳥根県立津津高等学校	3	山本 泉穂	夏山の……	仮名	創作	温和で優美な字形を流れるような連綿線で表現した作品。
209	鳥根県	鳥根県立益田高等学校	3	両見 菜央	馬車	漢字	創作	文字の造形美と平面構成を工夫した個性豊かな作品。
210	岡山県	岡山県立岡山東商業高等学校	3	小山 かれん	臨 杜家立成雑書要略	漢字	臨書	古典の特徴をとらえ、筆圧、遅速の変化により強さを表現した作品。
211	岡山県	岡山県立倉敷天城高等学校	3	藤澤 優希	臨 呉昌碩	漢字	臨書	文字群を効果的に表現し、行の流れと動きを工夫した作品。
212	岡山県	岡山県立倉敷南高等学校	3	小川 萌華	臨 徐渭	漢字	臨書	古典の独特な造形を捉え、多様な運筆を理解し、表現した作品。
213	岡山県	岡山県立倉敷商業高等学校	3	山内 結夢	臨 書譜	漢字	臨書	合理的な筆法を踏まえ、運筆での筆勢の強さや緩急抑揚の変化を追求した作品。
214	岡山県	岡山県立津山高等学校	3	青木 瑠音	臨 傅山 杜甫五言律詩	漢字	臨書	抑揚や遅速の変化を捉え、気脈を大切に表現した充実した作品。
215	岡山県	明誠学院高等学校	3	廣瀬 光汰	西行の歌を	仮名	創作	散らし書きや表現の視点を工夫し、緩急自在の連綿線等、変化に富んだ作品。
217	広島県	広島市立基町高等学校	3	中野 花音	臨 雁塔聖教序	漢字	臨書	楮法の特徴を捉え、抑揚の変化や行意の気脈などを理解し表現した作品。
218	広島県	広島市立基町高等学校	3	水嶋 蒼来	臨 小島切	仮名	臨書	繊細で筆力ある古筆の特徴を捉え、連綿部も細やかに表現した作品。
219	広島県	広島県立熊野高等学校	2	田村 有莉咲	臨 道因法師碑	漢字	臨書	古典の持つ整齊な字形を踏まえ、用筆・運筆と結構の特徴を追求した作品。
220	広島県	広島市立美鈴が丘高等学校	3	桑田 弥奈	臨 針切	仮名	臨書	古筆の特徴である繊細で骨力ある線質と行の疎密を効果的に表現した作品。
221	広島県	広島県立呉三津田高等学校	3	荒本 遥	臨 中務集	仮名	臨書	緩急自在な連綿線を会得し、軽快で変化に富んだ作品。
222	広島県	広島県立呉三津田高等学校	3	土居 奈里沙	<small>等参詩「寄左省社拾遺」・杜甫詩「奉寄岑参補阙见贈」</small>	漢字	創作	隸法の学習を生かし、造形の捉え方や波磔の表現効果を追求した作品。
223	広島県	広島県立福山葦陽高等学校	2	目寄 愛弥	臨 裴將軍詩碑	漢字	臨書	顔法の重厚で骨力ある線の特徴を捉え、個性豊かに表現した作品。
224	広島県	広島県立福山明王台高等学校	3	宮地 佑奈	臨 魏靈藏造像記	漢字	臨書	龍門様式の特徴を踏まえ、力強い点画で構成に工夫を凝らした明朗な作品。
225	広島県	広島県立大門高等学校	3	佐藤 美南	臨 裴將軍詩	漢字	臨書	顔法の豊かな表現方法を会得し、自己の秘めた想いを力強く表現した作品。
226	広島県	広島県立大門高等学校	3	住 彩華	臨 鄭長猷造像記	漢字	臨書	龍門様式の力強い運筆と剛直な線を強調した気魄あふれる作品。
227	山口県	山口県立宇部西高等学校	3	河村 三奈	臨 光明皇后楽毅論	漢字	臨書	筆の抑揚の変化と粘り強い線で全体を構成した一貫性ある作品。
228	山口県	山口県立長府高等学校	3	村上 彩菜	臨 曇宝子碑	漢字	臨書	古典の持つ素朴な造形と力強さを、明るくおおらかに表現できた作品。
229	山口県	山口県立下関南高等学校	3	樹谷 愛唯	臨 書譜	漢字	臨書	王法の様式や合理的な字形を捉え、効果的な表現を追求した作品。
230	徳島県	徳島県立西高等学校	3	小出 聖来	臨 中務集	仮名	臨書	古筆の行の流れをよく捉え、墨色に配慮した律動的な線で表現された作品。
231	徳島県	徳島県立西高等学校	3	竹内 友里	臨 小島切	仮名	臨書	繊細で自由な線質と軽快で流麗な変化を捉えた作品。
232	徳島県	徳島県立西高等学校	3	山本 美空	臨 道因法師碑	漢字	臨書	全体の構成に配慮し、一文字ごとの丁寧な臨書を心掛けた充実した作品。
233	徳島県	徳島県立徳島北高等学校	3	板東 志保	臨 何紹基 行草山谷題跋語四屏	漢字	臨書	筆の抑揚の変化と特異な造形を捉え、豊かに表現した作品。
234	徳島県	徳島県立徳島商業高等学校	3	野田 彩歌	臨 趙之謙 致王懿榮尺牘	漢字	臨書	趙之謙の筆法を捉え、造形性や行の流れの変化を表現した作品。
235	香川県	香川県立三本松高等学校	2	網本 莉子	臨 寒山子龐居士詩卷	漢字	臨書	黄庭堅の持つ伸びやかな用筆と運筆を工夫し、気脈を大切に表現した作品。
236	香川県	香川県立高松高等学校	2	池内 紗世	臨 雁塔聖教序	漢字	臨書	楮法を理解し、碑の特徴を全体構成の中で表現した努力作。
237	香川県	香川県立高松商業高等学校	3	中條 咲季	臨 曹全碑	漢字	臨書	隸法を踏まえ、整齊美と伸びやかな波磔を表現した作品。
238	香川県	香川県立多度津高等学校	3	西谷 智哉	臨 一条摂政集	仮名	臨書	変化のある行の流れをよく捉え、濃淡の変化と流麗な運筆の優れた作品。
239	愛媛県	愛媛県立三島高等学校	3	高橋 七海	臨 二謝帖	漢字	臨書	王法の特徴を理解し、用筆・運筆と行の流れを的確に捉えた充実した作品。
240	愛媛県	愛媛県立三島高等学校	3	三宅 瑠偉	臨 孫秋生造像記	漢字	臨書	龍門様式の特徴を理解し、力強い運筆と剛直な線を追求した作品。
241	愛媛県	愛媛県立松山商業高等学校	3	薬師寺 妃那	臨 木簡	漢字	臨書	文字の創造性を捉え、字形や線質等を工夫した個性豊かな作品。
242	愛媛県	愛媛県立東温高等学校	3	越智 ひなの	臨 肚痛帖	漢字	臨書	行の流れや律動性を踏まえ、豊かな線質と骨力を備えた作品。
243	愛媛県	愛媛県立伊予高等学校	3	森 耶真人	臨 木簡	漢字	臨書	筆の開閉や遅速の変化など表現方法を工夫し、力強さと重厚さを兼ね備えた作品。
244	高知県	高知県立安芸高等学校	3	春名 凜	臨 裴將軍詩	漢字	臨書	重厚な線質を追求し、豊かな表現方法を会得した作品。
245	高知県	高知県立高知小津高等学校	3	梅原 瑚白	臨 敦煌漢簡	漢字	臨書	文字の創造性を備え、重厚な線と造形を個性的に表現した作品。
246	高知県	高知県立高知小津高等学校	3	濱田 三葵	臨 史晨前碑	漢字	臨書	古典の線質の力強さを捉え、豊かな線質で統一性を重視した作品。
247	高知県	高知県立高知西高等学校	3	藤原 佑莉	臨 喪札帖	漢字	臨書	王法の合理的な運筆を踏まえ、雄大な表現を追求した作品。

248	福岡県	福岡県立筑前高等学校	2	緒方 翠	趙孟頫詩の一節	漢字	創作	造形の豊かさを追求し、線質に躍動感を持たせ表現した作品。
249	福岡県	福岡県立嘉穂高等学校	2	式 かおる	李白「獨坐敬亭山」より	漢字	創作	自由な造形と豊かな墨量で表現した個性的な作品。
250	福岡県	福岡県立城南高等学校	2	松尾 桜	私の学校の歌	漢字	創作	身近な題材を書に託し、心の豊かさを効果的に表現した作品。
251	福岡県	福岡県立須恵高等学校	3	平石 慎之助	臨 開通褒斜道刻石	漢字	臨書	摩崖碑の素朴な趣きを個性豊かに表現した作品。
252	福岡県	八女学院高等学校	3	松藤 緋七	臨 中務集	仮名	臨書	古筆の線質を捉え、優美な字形と緩急自在な連綿線を表現した作品。
253	福岡県	福岡県立大牟田北高等学校	3	阿部 さくら	愚公移山	漢字	創作	古典の学習を踏まえ、重厚で温かい線質で表現された作品。
254	福岡県	福岡県立福岡高等学校	3	佐伯 晶子	杜甫詩「麗人行」	漢字	創作	全体の構成や統一性ある字形を踏まえ、制作意図を効果的に表現した作品。
255	福岡県	福岡県立筑紫中央高等学校	3	田中 眞夕	窪田空穂の歌	漢字	創作	題材の持つ情景を文字に託し、墨の潤濁を工夫した効果的な作品。
256	福岡県	福岡県立修徳館高等学校	3	弘松 詩	志士慕功業 仁人懐道義	漢字	創作	様式に統一性を持たせ、造形や線性の豊かさを求めた作品。
257	福岡県	福岡県立八幡中央高等学校	3	古賀 聖愛	「私の誓い」	漢字	創作	言葉を大切に筆の想いを表現した、構成力の豊かな作品。
258	福岡県	福岡県立八幡中央高等学校	3	笹田 琉菜	臨 楊峴 臨 古四種巻	漢字	臨書	隸法の練習を踏まえ、伸びやかな波勢を捉えた充実した作品。
259	福岡県	福岡県立太宰府高等学校	3	坂口 優乃	魏徴詩「述懐」	漢字	創作	篆法の学習を活かし、呉法の造形性や技法を会得し、線性を追求した作品。
260	福岡県	福岡県立太宰府高等学校	3	中島 沙樹	白居易詩「秦中吟七首」	漢字	創作	楷法を理解し、造形に統一性を持たせ、筆力を工夫した完成度の高い作品。
261	佐賀県	佐賀県立佐賀北高等学校	3	香月 葵愛	臨 王鐸の書	漢字	臨書	古人の特徴を理解し、線の潤濁と運筆の遅速による律動的な線を追求し作品。
262	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	3	山之口 涼霞	黄山谷詩	漢字	臨書	隸法の学習を活かし、線の抑揚や伸びやかな波勢を会得した作品。
263	佐賀県	佐賀清和高等学校	3	西村 彩奈	臨 居延漢簡	漢字	臨書	用具・用材を工夫し、筆の抑揚や開閉を活かし、書への関心を表現した作品。
264	佐賀県	佐賀県立鹿島高等学校	3	吉村 静華	林章詩	漢字	創作	龍門様式を踏まえ、力強い運筆で剛直な線を表現した作品。
265	佐賀県	早稲田大学系属早稲田佐賀高等学校	3	迫村 美波	小倉百人一首	仮名	創作	全体の構成や料紙に配慮し、装丁の装飾性まで追求した作品。
266	長崎県	西海学園高等学校	3	山本 美来	薛稷の詩	漢字	創作	篆法の学習を踏まえ、造形性と線性の豊かさを追求した作品。
267	長崎県	長崎女子商業高等学校	3	田尻 菜月	杜審言詩三首	漢字	創作	隸法をよく研究し、全体の構成においてその特徴を表現した作品。
268	長崎県	長崎県立長崎西高等学校	3	木下 夏碧	臨 曹全碑	漢字	臨書	漢碑の特徴を理解し、左右の均整や伸びやかな波線を表現した作品。
269	熊本県	熊本中央高等学校	3	石堂 愛実	夏目漱石 草枕より	漢字	創作	全体の構成、文字の造形を工夫し、変化と調和と調和を追求した作品。
270	熊本県	九州学院高等学校	3	本田 奈央	臨 鄭長猷造像記	漢字	臨書	龍門様式を踏まえ、創造的な思いを自己表現した作品。
271	熊本県	熊本県立第一高等学校	3	藤本 理子	臨 香紙切	仮名	臨書	繊細で伸びやかな表現と連綿の濃淡を活かした作品。
272	熊本県	熊本県立人吉高等学校	3	那須 若菜	高適詩「陪侍御泛靈雲池」	漢字	創作	古典の特徴を生かし、落款に至るまで文字の造形や線質を追求した作品
273	熊本県	熊本県立御船高等学校	3	坂口 理愛	杜甫詩二首	漢字	創作	北魏の学習活動を活かし、重厚な線質や転折を理解し理念を形にした作品。
274	熊本県	熊本市立必由館高等学校	3	北村 詩	文徵明「新秋」	漢字	創作	緊密な結構と特異な造形を表現した個性豊かな作品。
275	熊本県	熊本市立必由館高等学校	3	松本 百夏	臨 鄭義下碑	漢字	臨書	古典の特徴を自らの豊かな表現に置き換えた創造性ある作品。
276	熊本県	慶誠高等学校	3	末田 剛士	薛稷詩「秋朝覽鏡」	漢字	創作	隸法の特徴を活かし、充実した線と造形美を追求した作品。
277	大分県	大分県立別府鶴見丘高等学校	3	衛藤 志歩	夏の海	漢字	創作	全体の構成、文字の造形を工夫した詩情豊かな作品。
278	大分県	大分県立大分豊府高等学校	3	藤松 七海	臨 真草千字文	漢字	臨書	楷法と草法を会得し、用筆や運筆を工夫した安定感ある作品。
279	大分県	大分県立大分南高等学校	3	嶋田 優萌	臨 石門頌	漢字	臨書	摩崖碑の持つ素朴さと造形の妙を個性豊かに表現した作品。
280	大分県	大分県立佐伯鶴城高等学校	3	休坂 璃里子	崔顥詩「雜詩」	漢字	創作	古人の特徴を捉え、重厚な線質と抑揚を活かした大胆な作品。
281	大分県	大分高等学校	3	大庭 由暉	鷹尾学舎近刻	篆刻	創作	篆書の造形と全体構成に配慮した撰文を多様な線質と構成により表現した作品。
282	大分県	大分高等学校	3	廣石 桃羽	臨 中務集	仮名	臨書	古筆の特徴を捉え、流麗な連綿線と気脈の変化を表現した作品。
283	宮崎県	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	6	小泉 晏慈	臨 香紙切	仮名	臨書	繊細で伸びやかな線と抑揚を活かした連綿線を追求した作品。
284	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	2	大原 彩愛	復元臨書関戸本古今和歌集巻第四秋歌上	仮名	創作	全体の構成や字形を正確に捉え、緩急・抑揚の変化を表現した作品。
285	宮崎県	宮崎県立日南高等学校	3	平原 萌衣	方澤詩	漢字	創作	古典の特徴を捉え、律動的な美しさを効果的に表現し、線質も充実した作品。
286	宮崎県	宮崎日本大学高等学校	3	年森 千花	杜甫詩一節	漢字	創作	紙面構成に工夫を凝らし、隸書体の特徴と余白の美しさを追求した作品。
287	鹿児島県	鹿児島県立鹿児島南高等学校	3	峯山 葵	臨 徐三庚 出師表	漢字	臨書	特異な造形や技法を追求した精神性の高い努力作。
288	鹿児島県	鹿児島県立吹上高等学校	3	吉井 楓	シャルル・ボドレエル詩	漢字	創作	全体構成を工夫し、行間を美しく見せる工夫や墨色に配慮した作品。
289	鹿児島県	鹿児島県立松陽高等学校	3	山田 世花	澤蟹の群れ	漢字	創作	構築性と線の重厚さを追求した個性豊かな作品。
290	鹿児島県	鹿児島県立鹿児島中央高等学校	3	泉 朱華	臨 跋設	漢字	臨書	篆法の重厚な線質と文字の造形を工夫し力強く表現した作品。
291	鹿児島県	鹿児島県立実業高等学校	3	峰元 舞衣	臨 王鐸 行書五律五首巻	漢字	臨書	横構成の特徴を捉え、線の潤濁と運筆の遅速による律動的な線が効果的な作品。
292	鹿児島県	鹿児島県立伊集院高等学校	2	有馬 言美	曉發	漢字	創作	線性の豊かさを追求し、独特な用筆と運筆を駆使し表現した作品。
293	鹿児島県	鹿児島県立武岡台高等学校	3	古別府 凜	臨 中務集	仮名	臨書	緩急自在な連綿線と優美な字形を軽快に表現した作品。
294	鹿児島県	鹿児島県立加治木高等学校	3	丸目 紫央	臨 小島切	仮名	臨書	古筆の学習を踏まえ、自由な線質と繊細さを追求した意欲的な作品。
295	沖縄県	沖縄県立前原高等学校	3	比嘉 ひまり	臨 陳淳の書	漢字	臨書	特異な造形と線質を捉え、気脈と余白美を活かした作品。
296	沖縄県	沖縄県立読谷高等学校	2	伊波 里都	臨 李嶠雜詠殘巻	漢字	臨書	行書の学習を踏まえ、点画の筆力や運筆の抑揚などを表現した作品。
297	沖縄県	沖縄県立コザ高等学校	3	長嶺 沙耶	臨 樊宝子碑	漢字	臨書	平面構成を工夫し、豊かな結構と重厚な線質を表現した骨力ある作品。
298	沖縄県	沖縄県立那覇高等学校	3	根路銘 彩葉	臨 鄭義下碑	漢字	臨書	摩崖碑の特徴を踏まえ、暖かい線質とゆったりとした造形を表現した作品。
299	沖縄県	沖縄県立小禄高等学校	2	知念 彩香	臨 松風閣詩巻	漢字	臨書	筆圧や墨の潤濁を駆使し、横画の独特な線質や行の微妙な変化を捉えた作品。
300	沖縄県	沖縄県立小禄高等学校	3	宮城 蘭	臨 胡澍	漢字	臨書	篆法を理解し、文字の造形や線質を的確に捉えた完成度の高い作品。